

平成26年度 三条市国語部 活動報告

部長 尾崎 章

1 研究主題

読みの力を高める指導について

2 研究の概要

日常実践における指導力向上をめざし、以下のように取り組んだ。

- (1) 県立教育センター指導主事による講義
- (2) 実際の授業参観及び協議・解説

3 研究の実際

- (1) 第1回研修 講義「読みの力を高める指導」 6月20日(金)

講師：浅野 秀之 様 (県立教育センター指導主事)

平成12年第1回PISA調査における読解力の定義から始まり、全国学力状況調査の具体的な問題等、子どもたちに求められる読みの力を解説していただいた。さらに、多様な音読方法と評価の場面、教科書教材を使った単元全体の組み立てや発問を模擬授業の形で提示してくださった。会員からは、「方向性が理解できた」「明日からすぐ実践できる」という感想が多かった。

- (2) 第2回研修 授業参観と協議 9月25日(金)

参観授業：4学年 国語 単元名「アップとルーズで伝える」

授業指導：田代勝巳 先生 (見附市立新潟小学校)

協議会指導者：浅野秀之 様 (県立教育センター指導主事)



《参観者の感想より》

- 具体的な説明文指導のやり方をみて学ぶことができました。要約指導で教材ごとに悩むことが多いのですが、全体の構成を理解するための手段として要約を捉えることで、柔軟に指導できることを学びました。
- 「ああ、楽しかった」という一言を聞いて、満足できる授業をしたいと改めて思いました。
- テンポの良い音読のさせ方、一人一人に自信をつけさせながら進めていく音読のさせ方、大変勉強になりました。

4 成果

今年度は2回の研修会を、1回は学力向上に関わる講義、もう一回は実際の授業研究会を行った。実施に当たっては、同じ指導者による講義、授業参観・協議会指導という形にした。このことによって、1回目の研修で学び、自分が実践してきたことに加え、具体的な授業を参観し、協議し、さらに指導をしていただくことで、教師の具体的な行為の意味を考え、自分の実践と比較検討することができた。会員からは、ぜひ来年もこのような連動した研修をしたいという声が出る等、有意義な研修となった。